

Quark License Administrator 4.5

既知の問題および解決済みの問題



Quark License Administrator 4.5 既知の問題

下記の内容は、Quark License Administrator 4.5 で確認されている問題です。
Quark はこれらの問題に取り組み、解決を目指しています。

- ・ QLA Server のアンインストーラが、「_jvmServer」フォルダを完全に削除できない。

Windows only

- ・ 「プログラムの追加と削除」のダイアログボックス(「スタート」、「コントロールパネル」、「プログラムの追加と削除」の順にクリック)で、QLA Server および QLA Control Panel アプリケーションのサイズが誤って表示される。

Windows Vista only

- ・ QLA Server または QLA Control Panel のアンインストーラを起動すると、「発行元が不明です」という警告メッセージが表示される。
- ・ Windows XP を実行しているコンピュータに QLA Server または QLA Control Panel をインストールし、その後 OS を Windows Vista へアップグレードすると、QLA アプリケーションが起動しなくなる。回避方法は以下のとおり：
 1. 下記のディレクトリに、「Server」という名前のフォルダを作成する。
Drive\Users\Public\Documents\Quark\Quark_License_Administrator
 2. 下記のファイルを QLA サーバーアプリケーションフォルダからコピーし、1) で作成した「Server」フォルダに貼り付ける(注意：存在しないファイルがある場合は、存在するファイルのみコピーする)。
 - EKL.log
 - HistChkinChkOut.log
 - HWMUsage.dat
 - LogOptions.properties
 - QLA.log
 - QLALicense.dat
 - QLANotification.properties
 - QLAServer.properties
 - Save.dat
 - TestData.properties
 - users.dat
 3. 下記のディレクトリに、「Client」という名前のフォルダを作成する。
Drive\Users\Public\Documents\Quark\Quark_License_Administrator
 4. QLA Control Panel アプリケーションフォルダから「QLAControlLog.properties」ファイルをコピーし、3. で作成した「Client」フォルダに貼り付ける。

Quark License Administrator 4.5 既知の問題

Mac OS only

- ・ 緊急起動キー（EKL）使用時にシステムの時間を進めると、EKL の残りの有効期間が、進めた時間分だけ減少する。例えば、3 日間有効の EKL 使用時にシステム時間を 1 日進めた場合、EKL の有効期間は 2 日間に減少する。この問題を回避するためには、アプリケーションを再起動して QLA サーバーに再接続する。
- ・ QLA Server をサービスとして実行しているが、アクティビティモニタには「Java」として表示される。
- ・ インストール中に表示されるダイアログの一部を、ディスプレイ上で動かすことができない。

Solaris only

- ・ QLA の Solaris バージョンのアップデートがプロダクト CD に含まれていない。しかし、Solaris バージョンのインストーラは CD に含まれており、QLA 4.5 の Solaris バージョンのアップデートおよびインストーラは、QLA アカウントへログオン後、入手できる。
- ・ QLA Server 4.5 のアンインストーラが「_jvmServer」フォルダを削除できない。そのため、QLA Server を再インストールすると、QLA Server の起動またはアンインストールができなくなる。QLA Server 4.5 を再インストールする必要がある場合、最初にインストーションパスから「Quark_License_Administrator」フォルダを削除し、次に「/InstallShield/Universal」フォルダから「Universal」フォルダを削除する。

Quark License Administrator 4.5 解決済みの問題

下記内容は Quark License Administrator 4.5 で解決された問題です。

- ・ QuarkXPress®および QuarkCopyDesk®の一部のバージョンで、リモートライセンスファイルを作成できない。
- ・ QLA Server コンピュータおよび QLA Control Panel コンピュータが地理的に離れている場合、リモートライセンスファイルを作成できない。
- ・ 起動時に、QLA のプライマリサーバーが更新されたライセンスファイルを確認しない。その代わりに、プライマリサーバーがバックアップサーバーと同期し、最終的にはバックアップサーバーから古いライセンスファイルを取得して使用する。
- ・ QLA のバックアップサーバーを 3 日以上起動できない。
- ・ サーバーコンピュータの IP アドレス、ホスト ID、およびポート番号を、ライセンスファイルをダウンロードする前に手作業で確定しなければならない。

Mac OS only

- ・ ダウンロードしたライセンスファイルの拡張子 (.exe) は、ライセンスファイルを実行する前に削除しなければならない。